

Ⅲ. 調査結果のポイント

1. 経営状況

現在の経営状況は「変わらない」が55.8%で最も多い。景況DI（「良い」－「悪い」）をみると、兵庫県全体では、昨年度調査の△19.6%から今回は△12.0%と7.6ポイント好転しており、業種別にみると昨年度調査と比べ非製造業は変化はないが、製造業は13.4ポイント好転している。

2. 経営方針

現在の主要事業は「現状維持」が59.9%で最も多く、次いで「強化拡大」（34.3%）、「縮小」（4.2%）、「廃止」（1.0%）と続き、「現状維持」は昨年度の調査と比べ微増傾向である。

3. 経営上の障害（3項目以内の複数回答）

経営上の障害については、全体では「人材不足（質の不足）」が53.1%で最も多く、次いで「労働力不足（量の不足）」「同業他社との競争激化」（ともに33.1%）、「販売不振・受注の減少」（30.4%）と続く。「労働力不足（量の不足）」は昨年度調査の4位から2位へとランクアップ。

4. 経営上の強み（3項目以内の複数回答）

経営上の強みについては、全体では「顧客への納品・サービスの速さ」が32.9%で最も多く、次いで「製品の品質・精度の高さ」（28.0%）、「技術力・製品開発力」（23.3%）、「組織の機動力・柔軟性」（23.1%）と続き、昨年度調査と比べ、上位3項目に変化はない。

5. 従業員の労働時間について

週所定労働時間は「40時間」が51.0%で最も多く、次いで「38時間超40時間未満」（24.6%）、「38時間以下」（14.1%）、「40時間超44時間以下」（10.3%）と続き、昨年度調査と同じ順位で、スコアにも大きな変化はみられない。

6. 従業員1人当たりの年次有給休暇の平均付与・取得日数・取得率

平均付与日数は全体で15.34日で、昨年より0.30日少なく、全国平均より0.29日下回った。
平均取得日数は全体で8.32日で、昨年より0.08日少なく、全国平均より0.76日上回った。
取得率は全体で55.92%で、昨年は0.47ポイント上回り、全国平均より4.97ポイント上回った。

7. 新規学卒者の採用について

平成29年3月の新規学卒者の採用または採用計画が「あった」事業所割合は21.5%で、昨年より4.1ポイント下回った。採用実績事業所数10件以上の種別で採用充足率が最も高いのは「高校卒：事務系」の94.1%、平均採用人数は「高校卒：技術系」が2.33人で最も多い。1人当たりの初任給（回答事業所数10件以上）は「大学卒：技術系」が205,571円で最も高くなっている。

8. 障害者の雇用について

障害者を雇用している事業所は全体の22.4%で全国平均と比べ1.6ポイント多くなっている。平均雇用人数は身体障害者が1.30人で最も多い。障害者雇用については、「予定」と「検討中」を合わせ15.4%となっている。

9. 従業員の過不足状況について

従業員の過不足は、「不足計」が57.7%、「適正である」が34.4%、「過剰計」が7.8%。従業員の不足している職種・部門は、「現業・生産」が64.7%が突出して多い。従業員の不足の理由は、「求める人材が来ない」が60.5%で最も多く、従業員不足への対応は「経験者の中途採用」が63.0%で最も多い。

10. 賃金改定について

平成29年1月1日から7月1日の間での賃金改定の実施状況は「上げた（7月以降引上げる予定を含む）」事業所が60.9%で、昨年度調査比1.2ポイント増とスコアを伸ばした。「上げた」事業所の改定後の平均所定内賃金は279,387円、引上げ額7,805円、引上げ率は2.87%であった。